



妙高市立妙高高原北小学校 1学期最終号

学校だより

令和2年7月30日

いつの日にか、覚醒

校長 岡田 和則

あらゆる活動が「コロナ対策」なしでは進められなかった1学期でしたが、できることを精一杯ということに取り組んできた75日間でした。73名、全員元気に終業式を迎えられたことが本当に嬉しく、支えていただいた保護者、地域の皆様には感謝するばかりです。

さて、様々に変更を余儀なくされてきた学校生活の中、先日ある格言が誤用されてきた事実を知ることができました。進化論を提唱したダーウィンの言とされる次の言葉です。
「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることができるのは、変化できる者である。」

まさにこのコロナ禍において変わらざるを得ないという状況のもと、いろいろな場面で耳にする機会が多かった言葉です。当たり前が当たり前でなくなる、常識がいとも簡単に覆される状況を目の当たりにし、私自身も納得する部分が多いと感じてきたところでした。

しかし、これは進化論そのものでいえば間違っていること、そもそもダーウィンが言った言葉ではないというある報道に触れ、大いに考えさせられました。最新のゲノム（遺伝情報）研究では、「今現在は必要とされていない（隠れた）遺伝的変異を多くもつ集団が、環境の変化の中でそれに合う特性を出現させてきた」というのが、現代科学で解明された進化の真実だということです。つまり、「環境に合うように変化させた」のではなく、「もともと持っていた性質を環境に合わせて覚醒、出現させた」ということです。学校生活を変えていかなければならない、何か新しいこと、違うことをしなければならぬと、「変化」が「目的」ようになっていたことが覆され、大きな衝撃を受けました。大事なものは結果、つまり子供の成長です。その鍵は、これまでの取組の中にこそあったのではないかと、変えるという過程が目的ではないということ、改めて考える機会となりました。

結果が大事ということでは、こんな言葉もあります。

「強い者が勝つのではない、勝った者が強いのだ」

1974年、サッカーワールドカップの決勝で、圧倒的強さを誇った優勝候補オランダに逆転勝利したドイツのキャプテン、ベッケンバウアーは、優勝トロフィーを手にしてこう言いました。「努力したこと自体が素晴らしい」として過程のみ評価し、結果を問わないならば、勝てなかった理由、積み重ねてきた努力が果たしてよかったかの反省が生まれません。

子供たちは、これから激動の世の中へと歩みを進めていきます。「進化」という長い目で見るならば、「今すぐには役立たないかもしれないけれど、できるだけたくさん体験や経験を積み、財産としておくこと」が、いざというときに生き残る力へとつながっていきます。

ようやく夏休みの開始です。25日間、いつもより短い夏ではありますが、多くの経験を積み重ねる、充実した夏休みとして下さい。いつかその経験が、「覚醒」する日を期待して。

< 8・9月の予定 >

日・曜	給食	行事等
8月26・水	○	2学期始業式 2学期給食開始
27・木	○	
28・金	○	
29・土		
30・日		
31・月	○	発育測定（低） クラブ③ 上教大教育実習（～9/18）
9月1・火	○	発育測定（中）
2・水	○	避難訓練、災害時引き渡し訓練（15:00） カウンセラー勤務日
3・木	○	発育測定（高） 園小交流会②（4年）
4・金	○	
5・土		
6・日		
7・月	○	委員会
8・火	○	全校集会 P T A 第4回企画委員会
9・水	○	マラソン前内科検診
10・木	○	あいさつの日 安全点検日 諸費振替
11・金		青空なかよしウォークラリー
12・土		
13・日		
14・月	○	クラブ④ 管理訪問
15・火	○	児童集会
16・水	○	
17・木	○	親善陸上➡中止 3～6年メディア教室
18・金	○	1年給食試食会
19・土		
20・日		
21・月		敬老の日
22・火		秋分の日
23・水	○	
24・木	○	
25・金	○	妙高市科学研究発表会
26・土		
27・日		
28・月	○	委員会
29・火	○	ゆうゆうタイム 合同マラソン大会 P T A 奉仕作業
30・水	○	

※年度当初の計画から、変わった点があります。また、今後の諸情勢により、変更になる場合があります。その都度連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。